

研究協力をお願い

昭和医科大学病院および昭和医科大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

| | |
|---|--|
| 昭和医科大学における8年間の血栓回収療法を要した院内発症急性期脳梗塞の後方視的検討 | |
| 1. 研究の対象および研究対象期間 | 2018年1月1日から2026年1月31日までの8年間の血栓回収療法を要した院内発症急性期脳梗塞の患者さん |
| 2. 研究目的・方法 | 院内発症脳卒中は院外発症と比較し、予後が悪いことが知られており、原因としては原疾患や治療による影響により診断が困難になることや、脳梗塞を普段扱わない病棟で発生し看護評価が不足しているなどが挙げられます。 2018年1月1日から2026年1月31日までで血栓回収療法を要した脳梗塞のうち院内発症急性期脳梗塞の患者さんを対象とし、既往歴、要請診療科、閉塞血管、NIHSS、DWI-ASPECTまたはCT-ASPECT、発症から画像(CTまたはMRI)撮影の時間、血栓回収術開始時間と再開通の有無、再開通時間などの既存のカルテ情報・画像データから後方視的に検討します。またコードストロークの起動の有無やコードストロークの流れ、それぞれの検査・治療時間も検討します。 |
| 3. 研究期間 | 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 3月 31日まで |
| 4. 研究に用いる試料・情報の種類 | 既存のカルテ情報(年齢、性別、既往歴、要請診療科、閉塞血管、NIHSS、DWI-ASPECTまたはCT-ASPECT、発症から画像(CTまたはMRI)撮影の時間、血栓回収術開始時間と再開通の有無、再開通時間) |
| 5. 外部への試料・情報の提供 | 該当いたしません |
| 6. 研究組織 | 研究責任者 研究機関名 昭和医科大学病院 氏名 坂口 顕弘 |

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院脳神経外科 氏名：坂口 顕弘

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8691